

愛農学園農業高等学校の教育について

※愛農学園発行の学校案内パンフレット及び学校要覧(平成27年度)から作成

1 愛農学園とは

(1) 設置

- ① 創立：昭和38(1963)年12月10日 (翌年4月開校)
- ② 設置者：学校法人愛農学園(伊賀市別府690)

※創立者：小谷純一(設立母体である愛農会創立者)

(2) 教育方針

「神を愛し、人を愛し、土を愛する」を基本とし、具体的には、①農業教育、②全寮制教育、③聖書による人格教育を通じて、実践してきた。

・ 神を愛する

「心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」との聖書の精神に基づく良心教育を理念とし建学

・ 人を愛する

「自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい」との精神によって愛農高校は全寮制・少人数制で教育を行っている。(1学年1クラス25名定員)全国から集まった生徒と教職員が共に生活し、学校生活・寮生活を共にするなかで、自主自立を学び、互いを認め合い、互いを尊重しあえる人を育てる教育を目指している。

・ 土を愛する

愛農高校は、土を愛し、生命を愛する精神に立って有機農業を実践し、化学肥料や農薬を使用せずに作物・野菜を育て、持続可能な農業を学ぶ。

農場は野菜・作物・果樹・養豚・養鶏・酪農の6部門からなり、そこで生産された安全で安心な食べ物が生徒たちの食卓に毎日のぼる。

(3) 学生数等 平成27(2015)年5月1日現在 (単位：人)

| 学年別 | 平成27年 | 参考(平成26年度) |
|-----|---------------------------|------------|
| 1年 | 16(男10、女6) | 20 |
| 2年 | 19(男12、女7) | 21 |
| 3年 | 21(男16、女5) | 17 |
| 専攻科 | 1(男1、女0) | 1 |
| 計 | 57(男39、女18) | 59 |
| 教職員 | 43(教員、事務職員、非常勤職員、調理員、校医等) | |

※在籍者のほとんどが県外出身者(毎年ほぼ9割が県外から)

2 学校生活・寮生活

(1) 学校生活

学校生活では、普通科目の学力の向上に力を入れると共に、農場での実践的な学びを重視し、主体的な経営ができる農業者の育成を目指した教育を行っている。

このほか、聖書の学習を行い、人は「人間」としていかに生きるべきかを、聖書と農業の学びを軸として職員・生徒が共に考え探求する。

(2) 寮生活

全国から集まり共同生活をする中で、互いの弱い面や問題点と向き合うことも出てくるなど、色々な思い出とともに、かけがえのない絆が生まれる。

(3) 1日のスケジュール

- 6 : 0 0 ~ 体操清掃、農場・調理当番
- 7 : 0 0 ~ 朝食
- 8 : 0 0 登校後、授業 1時限～7時限（土曜日は、4時限まで）
※1時限は、毎朝礼拝を行う
- 1 5 : 3 0 ~ 農場・調理当番、クラブ活動
- 1 8 : 0 0 門限点呼
- 1 8 : 2 0 夕食、20時からミーティング、学習時間
- 2 2 : 2 0 消灯点呼

3 卒業後の進路

大学、短期大学、農（林）業者大学校、専門学校、就職・研修・ボランティア、海外（韓国農水産大学、農業研修等）などへ。

卒業生の就職率は、これまで送り出した1000人あまりの卒業生のうち、45%が農業の担い手となっている。過疎化・高齢化が著しい限界集落で農業に取り組む卒業生も多く、村づくりという観点からも大きな役割を果たしている。